

ひ ろ ば

吹田ホスピス市民塾会報誌

Vol.19

第 19 号 2016 年 4 月 9 日発行

吹田ホスピス市民塾

発行者：小澤和夫

吹田市藤が丘町 27-1-405

TEL/FAX：06-6388-6257

E-mail：ozak200@nifty.com

URL：suita-hosupisu.jimdo.com

「吹田在宅ケアネット」第 18 回公開研究会、開催

会長 小澤 和夫

さる 3 月 26 日 (土) 14:00-16:30、済生会千里病院災害管理棟で開催。

テーマ：「人生の最終段階における多職種連携」～各職種は、何をどうしなければならないか～

概要：講演「吹田在宅ケアネット～今後の構想について」(小澤)

シンポジウム「自職種がやるべきこと」(各 10 分)

〈シンポジスト〉	大阪府済生会吹田病院	麻酔科	藤田和子 氏
	おおさか往診クリニック	院長	田村 学 氏
	済生会吹田訪問看護ステーション	所長	児浦博子 氏
	岡村薬局	管理薬剤師	岡村俊子 氏
	あいりすケアプランセンター	所長	上田節子 氏
	吹田ホスピス市民塾	会長	小澤

「他職種への希望」：シンポジストから合計 4 2 項目が寄せられて、それに対する考え方を、それぞれシンポジストからお話し頂きました。

(コメント) シンポジストの皆さんから、「他職種への希望」を提案頂いたのは初めてでした。

今回は、意見交換の時間が短かったですが、今後は会員制の新組織ができればその中で十分な意見交換をしながら、より良い運営のルールを作り、ケアのレベルを高めていって、「がんになっても安心して暮らせる吹田のまちづくり」ができると嬉しいです。

—— 吹田在宅ケアネットについて ——

設 立：2007 年 6 月

目 的：吹田市とその周辺で、がん患者の在宅ケアに携わる者が連携して活動。

将来は、他の疾患にも広げる。

活 動：公開研究会、世話人会：各 18 回開催。研究会は、延べ約 1,300 人が参加。

世話人：20 名。代表世話人：市民病院村田幸平副院長。当会からは 3 名。

今後の方向：公開研究会を会員制に改組して、在宅ケアを望むがん患者・家族が平穏な生活を送れるような体制を作り、ケアのレベルアップを図る。

2015年度年次総会、提案通り決定、終了

3月19日(土)14時～16時、デュオで開催、すべて提案通り決定されました。詳細は議案書をご覧ください。

なお、役員は新任の7名を含め、15名の強力体制となりました。皆さまの一層のご支援・ご協力をお願い致します。

また、総会終了後、懇談会を持ちましたが、そこで多くの皆さまから提案を頂きました。今後、それらを大切に検討しながら進めていきます。毎月の例会で、逐次検討していきますので、どうかご出席、ご意見を頂くようお願い致します。(小澤)

2015年度 患者さん等とのお話…延べ約500名

内 容	吹田がん患者・ 家族会	吹田がん情報 コーナー	がんサポート カフェ	吹田ひまわりの会 (ご遺族)	合 計
実施回数	11回	22回	3回	9回	45回
延べ人数	60名	58名	37名	44名	199名

この他、ボランティアフェスティバル、健康展、デュオフェスタなどで、市民の方約300名以上とお話を。

2015年度 吹田がん情報コーナーまとめ

2015年度の吹田がん情報コーナーのまとめをしました。大きく件数が増えたわけはありませんが、必要とされていると感じています。このようなコーナーがあるという認知度の向上、担当していただける会員の協力がなお一層必要です。

() 内は昨年度(期間2014.5/1～2015.2/28)

対象期間 2015年3月1日～2016年2月29日(22回)

対応件数: 58件/22回(44件/19回) 対応者延べ人数: 85名(71名)

相談者の性別

男性	19件(18件)	32.8%(40.9%)
女性	39件(26件)	67.2%(59.1%)

相談者の年代

60～70歳代	37件(27件)	63.7%(61.3%)
40～50歳代	9件(10件)	15.5%(22.7%)
80歳以上	9件(2件)	15.5%(4.5%)
20～30歳代	3件(5件)	5%(11.3%)

相談者と患者との関係

本人	39件(23件)	67%(52.2%)
配偶者(夫・妻)	11件(9件)	19%(20.4%)
親(父・母・義父母)	5件(1件)	9%(2.2%)
兄弟・姉妹	1件(3件)	1.7%(6.8%)
その他	2件(3件)	3.4%(6.8%)

相談歴

初めて	53件(43件)	91%(97.7%)
2回目以上	5件(1件)	9%(2.3%)

相談に来られた動機

たまたま	27件(25件)	46.5%(56.8%)
市役所に来て		
市報を見て	17件(15件)	29%(34.0%)
チラシを見て	2件(0件)	3%
その他	12件(4件)	20.6%(9%)

内容(複数回答)

療養上の悩み	19件(9件)	32.7%(20.4%)
治療内容	4件(10件)	6.9%(22.7%)
精神的な悩み	3件(2件)	5%(4.5%)
緩和ケア	2件(4件)	
症状	2件(1件)	
医療者との関係	2件(1件)	
その他	34件(18件)	

2015 年度 第 3 回公開講座

「大切な家族を看取った私達」
～遺族の立場から～

今年の公開講座の大きなテーマである「がん患者さんを自宅で看取るには」の最終章として、ご家族を自宅で看取られた 5 人のパネラーとコーディネーターの構成により効率的なパネルディスカッションが展開された。

看取りの対象者、自宅での看取りに至った様々な経緯、ドクター及びナースの適切な対応、夜間・緊急時の処置及びアドバイス、それぞれの患者さんの最期の様子、看取りでの辛かったこと、在宅での看取りを選択して良かったこと、質疑では本人への告知など、私たち市民が本当に知りたいことをわかりやすく説明して頂いた。

異口同音に述べられた、患者を思う家族愛とすがすがしい達成感に圧倒され、1 日も早く、市民塾が目指している「がんになっても安心して暮らしていける吹田のまち」になるように私たちの活動をさらに加速していかねばならないと痛感した。

在宅だからすぐ傍で看取れた、家族全員で看取れた、病院での看取りでは困難だったであろう、家事をしながら、疲れた時には一寸横になったりしながら看取れた、家族のそれぞれに最期の姿を体験させられたことなどを、在宅で看取れてよかったと説明頂いた

パネラーの皆さんの顔が輝いて見えたのは、私だけだったのだろうか。

(吉田 昭)



大阪がん患者団体協議会総会

1. 日時：3 月 14 日 (月)
18:00～20:30
2. 場所：大阪府成人病センター
3. 出席：17 団体 (加盟 18 団体)
4. 議題：
 - (議事の前に) 勉強会：1 年以内に実施の「がん患者に関するアンケート」3 件の報告。
 - 大阪府がん診療連携協議会相談支援部会：「患者団体との連携が必要であるが、知らない」
 - (1) 次期世話人の選出。
 - (2) 6 部会報告 (肝炎肝がん対策部会、がん診療拠点病院部会、小児がん部会、がん登録部会、がん患者支援検討部会、緩和ケア部会) この他、がん検診・診療部会は、オブザーバー。
 - (3) 新規加入団体 (1)：承認。

(コメント)：病院などの医療機関と患者団体の連携を早急に働きかける必要がある。

大阪がん患者団体協議会

1999 年 8 月設立。

19 団体。HP あり。

目的：大阪府下のがん患者及び家族・遺族の支援を志す団体が連携し、がん患者と家族・遺族の QOL の向上。

責 務：大阪府がん対策推進委員会に 2 名の委員を推薦。6 部会に委員を推薦。

1 部会にオブザーバー推薦。

粗供養をご寄附頂きました。

さる 11 月、あるご婦人から、吹田市社会福祉協議会を通してご寄附 (5 万円) を頂きました。ご主人をホスピスで穏やかに看取られたことが契機だとのこと。有難くお受けさせて頂きましたが、大切に使用させて頂きます。

なお、ご了解を頂いたので、特別会員さんとして、会員さん同様に資料をお届けさせて頂くこととしました。これまでも、健康展で当市民塾の活動をお知りになってご寄附いただいたり、講師の謝金をご寄附いただいたりしています。

私たち役員は手弁当で活動させて頂いていますが、皆さんからお預かりの会費と共に大切に使用させて頂いています。

(本稿は、第 18 号に記載するところを漏れたため、遅くなりました)

がんの学習活動の充実に向けた研修会

1. 日 時：3月2日(水) 3～5時。
2. 主 催：大阪府吹田保健所。
3. 場 所：同上
4. 参加者：吹田市内の公私立中学校教職員
(保健体育担当、養護教諭)
18校中14校。他に、吹田市教育委員会、吹田市図書館など。
5. 内 容：
 - ①「豊能医療圏域がん医療ネットワーク協議会がん検診情報部会の取り組み」
(大阪府吹田保健所企画調整課長 山路雅代氏)
 - ②「がん患者・家族の思い」
(当市民塾 小澤和夫)
 - ③「教職員が知ってほしいがん知識」
(市立吹田市民病院内科部長 宮崎昌樹氏)
 - ④がん情報ナビゲート
「大阪がんええナビ」の紹介
(済生会千里病院経営企画室担当兼 病歴管理室長 松木大作氏)
 - ⑤がんになった時のサポーター
「がん相談支援センター」の紹介
(済生会千里病院がん相談支援センター ソーシャルワーカー 小藪綾子氏)

(コメント) 第2期大阪府がん対策推進計画(H25～29)の3つの柱の一つ「がん予防の推進」の中に、初めて「がんの予防につながる学習活動の充実」が示された。(国の計画に沿ったもの)

これに沿ってH27年度から、大阪府健康医療部と市町村教委の共催で、府下のモデル中学校を対象(8校)に、出前講座を実施。その延長上の行事でした。

中学生のがん予防の研修は、①予防のための生活習慣の改善(喫煙、受動喫煙、食事、運動、感染症など) ②早期発見・早期治療の大切さ(検診の重要性) ③がんになった時の対応 ④ご両親へのメッセージ ⑤(麻薬関与の防止)などの効果が考えられます。

鹿児島、山梨、千葉などでは、ボランティアグループが講座を担当しています。吹田も是非、早期実施が望まれます。当市民塾も、積極的に参画したいと思います。

なお、当日のアンケートによると、時間、講師や資料、などの問題がありそうですが、決定すれば可能だと思います。(小澤)

活 動 展 示

1. 女(ひと)と男(ひと)のフェスタ 2016inすいた

- ①日 時：2月20日(土) 9～17時
- ②場 所：メイシアター展示室
- ③参加団体：12(デュオでの活動団体)
当市民塾も参加。折悪しく、朝からの雨で来場者が少なく、午後の映画会への来場者が夕刻に回ってきていただいて、200名超?当市民塾のブースでは約40名の方とお話を。リーフレット、チラシ(2種類)、がん情報サービスの冊子(5種類)を、無料配布しました。健康展の時よりも関心の深い方が多く、シッカリお話ができました。なお、お昼過ぎに、後藤市長が会場に来られて、当ブースでもお話ができました。

2. まちづくり市民塾連絡会パネル展示

- ①日 時：3月22日(火)～25日(金)
- ②場 所：千里ニュータウンプラザ2F
- ③参加団体：8
リーフレット、チラシ(2種類)、がん情報サービスの冊子(5種類)を、無料配布しました。

大阪大学医学部附属病院・オンコロジーセンター4階・がん相談支援室

昨年9月に開設。本格的な活動はこれからの模様。

- 面談：水曜日の2～4時。(予約不要)
- 電話：月・水・金の9～13時
(6879-5320 直通)
- FAX：24時間受付。(6879-5315)
- がんサロン：平日の9～16時。

出来事

平成 27 年度すいた健康サポーター講座

1. 主催：吹田市立保健センター
2. 開催：2H×4回（2月3日～25日）
3. 場所：吹田市立保健センター
4. 内容：
 - ・健康サポーターって何？
 - ・生活習慣病を予防しよう！食事って大切！
 - ・がんの予防について／がんの相談について
 - ・運動って大切！口腔機能の向上について
 （感想）高齢者中心に、100名以上が参加。健康促進のこうした講座は初めて？今後も継続される模様ですが、促進を期待。こうした形でがん対策も。

がんを知る展

1. 主催：アフラック 共催：大阪府・大阪市。
 2. 日時：2月12日（金）～14日（日）
 3. 場所：グランフロント大阪北館1階
 4. 内容：①がんニッポンの今 ②がんを知る
③がんを見つける ④がんを治す
⑤つなげる・拓げる ⑥こどもがん展
- 当市民塾も参加：当会が加盟している大阪がん患者団体協議会が参加。リーフレットやチラシの配布を行った。
- （感想）展示方法や訴求力にはやや不十分な点があったが、これをベースに、「医療者の相談コーナー」「ミニ講演会」なども加えて、吹田でも実施したい。（小澤）

近畿がん政策サミット2016～共働！

～次期のがん対策推進計画を見据えて～

1. 主催：滋賀県がん患者団体連絡協議会
 2. 日時：2月27日（土）13～16時
 3. 場所：ピアザ淡海（大津市）
 4. 内容：
 - 基調講演：「第3期がん対策推進計画の策定に向けて～現状と課題～」
 - 講師：NPO法人がん政策サミット理事長 埴岡健一氏
 - グループワーク：5つの分野について、ワークと発表。
- 放射線治療、化学療法、手術療法の更なる充実とチーム医療の推進
- がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- がんに関する相談支援 ○がん教育・普及啓発
- がん患者の就労を含めた社会的な問題
- （感想）患者会を中心に、医療、行政、議員、マスコミが一体となつての催事。大阪府や吹田でも、こうした連携ができるとがん対策が大きく前進すると思います。実現を目指したい。（小澤）

全国“まちの保健室”フォーラム2016

～超高齢化社会に寄り添う新たな“まちの機能”を目指して～

1. 共催：大阪府・よどきり医療と介護のまちづくり株式会社
 2. 日時：2月12日（金）2～5時
 3. 場所：阪急電鉄本社
 4. 内容：
 - 1) 基調講演：
 - ①「地域包括ケアの時代に向けて～地域を耕す医療提携と暮らしの保健室の実践～」
（株）ケアーズ白十字訪問看護ステーション 代表取締役／暮らしの保健室室長 秋山 正子氏
 - ②「コミュニティヘルスのあるまちづくりへ」
慶応義塾大学環境情報学部兼政策・メディア研究科准教授 秋山 美紀氏
 - 2) 各地の活動報告とパネルディスカッション
 - よどきり医療と介護のまちづくり（株） 取締役 三輪 恭子氏
 - 三重県名張市健康福祉部名張市地域包括支援センター長 田中 明子氏
 - オレンジホームケアクリニック 代表 紅谷 浩之氏
- （感想）高齢化社会を迎えて、地域での対応をどうするか…その対応の一つ。吹田でも検討を。

吹田災害支援ネットワーク（仮称）第1回会合

1. 日時：2月22日（月）2～4時。
 2. 場所：千里山コミュニティセンター
 3. 主催：吹田市社会福祉協議会
 4. 参加団体：24（39名）
 5. 内容：
 - 1) 基調講演：
 - 「吹田市の防災体制について」
吹田市危機管理室総括参事 竹嶋秀人氏
 - 「吹田市社会福祉協議会が取り組む被災者支援活動について」
同協議会 新宅太郎氏
 - 2) 交流会：
 - 参加団体の自己紹介、災害時に可能な活動（金子・小澤）
- （感想）1月17日、吹田市「合同防災訓練」に地域の自治会役員として参加。訓練であっても大変。中々上手く運びませんでした。「本番になったら・・・？」。地域の防災は各地域の自治会が中心・・・その中でボランティア団体の役割は？日頃から「自分の事として」具体的に考えておかなければならないと思いました。（小澤）

定期開催のお知らせ 何れも申込み不要・無料

定例会

男女共同参画センター デュオにて
5月7日、6月4日、7月9日
いずれも土曜日 13:30～15:30
— どなたでもご自由にご参加下さい

患者・家族会 ひまわりの会（遺族会）

男女共同参画センター デュオにて
(会場は別にとっています)
4月30日、5月28日
6月25日、7月30日
いずれも土曜日 13:30～15:30
— 突然のがんの告知でどうしていいかわからない方、現在治療中だけど生活の不安をどこへ話したらいいかわからない、家族のがんで悩まれている方、一人で悩まずお話してみませんか？

吹田がん情報コーナー

吹田市役所ロビーにて
4月21日
5月12日、19日
6月9日、16日
いずれも木曜日 13:00～16:00
— がん患者さん、ご家族及び一般市民の皆さんに、がんに関するいろいろな情報をお伝えしています

後援：吹田市民病院

がんサポートカフェ

栄えるカフェ in すいたにて (ファミリーマート 吹田栄通り商店会店)
4月15日、5月20日
6月17日、7月15日
いずれも金曜日 14:00～16:00
— がん患者さん及びご家族と、それをサポートする方々が集う交流の場です。
お気軽にご参加ください。

その他の予定：ボランティアフェスティバルに参加

5月29日(日) 10時～15時 市役所駐車場にて

編集後記

また新たな年度がスタートしました。会員それぞれ出来る範囲で、会の活動に積極的に参加して頂き、実りある1年にしたいと思います。宜しくお願い致します。

会員の皆様へ～お誘いとお願い

会員の皆様のご参加をお待ちしております。
ご意見・ご希望もお聞かせ頂き、ご協力ください。
★掲載可能な“みなさまの体験記”を募集しています
★会報誌の印刷、発送のお手伝いできる方、ご連絡下さい。
☆会員を随時募集しています

リーフレットのご入用の方は役員までお知らせください。
薬局などにも置かせていただいております。



— がんになっても安心できる吹田のまちづくりを —

吹田ホスピス市民塾

H P <http://suita-hosupisu.jimdo.com>

ブログ http://blog.goo.ne.jp/mangopurin_2013

